

## 南仏事件情報（2018年11月分）

### 1 凶悪事件（殺人、強盗事件等）

- 2日（金）午前，ベジエ（エロー県）郊外にある切手専門店で，覆面と手袋をした男2名が押し入り，銃で店主や客を脅して手足を縛り，切手と現金を奪った。店主は犯人に殴られ，病院に搬送された。
- 4日（日）午前，ポール＝ド＝ブック（BdR 県）プーハ通りで，男性（57 歳）が何者かに刃物で刺されて死亡しているのが発見された。
- 6日（火）朝，トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）で，少年（16 歳）が強盗容疑で警察に逮捕された。少年は10月上旬，同市アンパロ地区で，食料品店から出てきた女性（48 歳）を襲い，顔面を殴って転倒させ，金のネックレスを奪った。
- 6日（火）午前6時頃，ニース（アルプ＝マリティム県）ガンベッタ通りにあるアパートで，憲兵隊特殊部隊（GIGN）による強襲作戦が実行され，同アパートに住む男（30 代）が7月に発生した強盗事件に関する容疑で逮捕された。男は妻と娘と共にアパートで暮らしていた。
- 7日（水）朝，エクス＝アン＝プロヴァンス（BdR 県）オード通りで，男性（30 代）が何者かに刃物で刺されて死亡しているのが発見された。
- 7日（水），イゼール県にあるホテルで，男2名が強盗容疑で警察に逮捕され，共犯者の男1名が11日（日）マルセイユ（BdR 県）1区で逮捕された。犯人らは9月中旬，マルセイユ12区にある80代の女性宅に押し入り，刃物で女性を脅して銀行カードを奪って暗証番号を聞き出し，その後，同カードで現金を引き出した。
- 9日（金）午後，エクス＝アン＝プロヴァンス（BdR 県）ジャ＝ド＝ブファンの商業地区で，覆面と手袋をした若者数名が商店に侵入し，拳銃で店主や客を脅し，売上げ金と客の鞆を奪った。
- 9日（金），ジャク（エロー県）の民家で，ベビーシッターの女（60 歳）が生後7ヶ月の赤子を揺さぶる暴行を加えて昏睡状態にさせ，傷害容疑で逮捕された。
- 10日（土）深夜，マルセイユ（BdR 県）ミコクリエ（14 区）のシテで，車両運転中の男性（26 歳）が，ゴミ箱で道路が封鎖されていたため停止したところ，覆面をした男5名に拳銃で脅され，車両を奪われた。
- 13日（火）午前8時30分頃，アグド（エロー県）グラン＝テトラ通りで，男性がスクーターに乗った2名に銃で撃たれ重体。男性はアグド等でクラブやスナック，バーを経営していた。
- 13日（火）夜，マルセイユ（BdR 県）12区で，女性が元夫に首や顔面，腕の

17箇所を刺され重体。元夫は逮捕された。女性は10日から母親の自宅に避難していた。

●16日（金）深夜、マルセイユ（BdR 県）ラ・カステランヌ（15区）のシテで、男性（30代）が何者かに銃で胸を撃たれ重体。

●21日（水）、マルセイユ（BdR 県）ストラスブール通り（3区）にあるカフェのテラスで、女性（42歳）が二人組にハンドバッグを盗まれそうになり、反射的に抵抗したところ、刃物で顔面を切られ病院に搬送された。犯人らは逃走した。女性の顔面の傷は長さ約20cm。

●22日（木）午前3時頃、マルティエグ（BdR 県）カント＝ベルドリ地区にあるアパート入口付近で、男性2名（27歳と29歳）が何者かにカラシニコフ銃で射殺された。

●23日（金）午後、マルセイユ（BdR 県）カプレット通り（10区）で、身体障害者の息子（23歳）を持つ男性（58歳）が身体障害者用の駐車枠に駐車していた運転手の女（30代）と同乗していた男2名に対して注意したところトラブルになり、女らの知人の男1名が現れ、男性を刺し殺し、男3名と女1名は逃走した。30日、マドリード（スペイン）のホテルで、男性を刺殺した男1名と運転手の女1名が警察に逮捕された。同乗していた男2名は逃走中。

●23日（金）午後7時30分頃、マルセイユ（BdR 県）ルー通り（4区）にあるタバコ屋の閉店の際にライフルを所持した男2名が押し入り、店主を縛り、現金やタバコを奪った。

●24日（土）午前9時頃、リュイヌ（BdR 県）ルート・ド・ガルダンヌで、男性の焼死体が発見された。男性は両手を縛られ、目隠しと猿ぐつわをされていた。司法解剖の結果、複数の銃創が認められ、別の場所で殺害されて焼かれた後、発見場所に置き去りにされたものと判明した。男性はアフリカに起源を持ち、マルセイユに在住していた。

●24日（土）午後7時30分頃、ニース（アルプ＝マリタイム県）アリアーヌ通りにあるスーパーマーケット「リーダー・プライス」で、拳銃と鉄の棒で武装した男2、3名が押し入った。男らは発砲することなく逃走した。被害金品については明らかにされていない。

●24日（土）夜、エクス＝アン＝プロヴァンス（BdR 県）リベール＝シューマン通りにあるスーパーマーケット「フランプリ」で、覆面をした男3名が閉店時に押し入り、拳銃で店員を脅して金庫内の金品を奪った。

●27日（火）午後、ヴォヴェール（ガール県）中心部にある民家で、父親（40代）が生後18ヶ月の赤子を銃で撃ち殺した後、同じ銃で自殺した。民家からは複数の銃が発見された。

●28日（水）夜、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）シャレ通り（レ・シャ

レ地区)で、男性(62歳)が車を駐車しようとしていたところ、突然現れた女(27歳)に刃物で襲われた。男性が車外に出たところ女にハンドバッグを奪われたが、女は通行人に捕まり、警察に引き渡された。男性は手に軽傷を負った。女は精神鑑定を受ける予定。女は過激なイスラム主義者としてフィッシュSに登録されていた。

●29日(木)午前9時30分頃、アレス(ガール県)アヴェジャン通りにある銀行で、女(60代)が爆発させると脅して店内に立て籠もった。4時間後、警察の説得により、女は自ら銀行から出てきて逮捕された。

## 2 薬物・銃器関連事件

●1日(木)から2日(金)にかけて、アグド(エロー県)にある射撃クラブに、何者かが侵入し、拳銃22丁を盗んだ。

●6日(火)、マルセイユ(BdR県)で銃器密売グループに対する警察の一斉摘発が行われ、15名が逮捕され、銃器66丁(拳銃:25丁、ショットガン・猟銃等:41丁)及び現金3万4千ユーロが押収された。7日(水)、セヌ=スール=メール(ヴァール県)で、別グループに対する一斉摘発が行われ、3名が逮捕され、銃器15丁(主に自動式拳銃等)が押収された。

●8日(木)、トゥールーズ(オート=ガロンヌ県)ジュール・アミリョー通りで、少年(17歳)が薬物密売容疑で、バガテル地区の警察に逮捕された。少年は大麻220g及び大麻樹脂100gを所持していた。同日、同市ジロンド通り(バガテル地区)で、男3名(24歳、21歳及び17歳)が薬物密売容疑で逮捕され、大麻340g及び大麻樹脂720gが押収された。

●9日(金)深夜、イストル(BdR県)プレパウのシテ付近で、2名乗車中の車両が警察の停止命令に従わず逃走した。警察が同車両を停止させたところ、運転手は逃走したが、同乗者は逮捕された。同乗者は大麻樹脂18kgを所持していた。

●13日(火)、モンペリエ(エロー県)高速道路(A9)上で、車両2台に乗車していた男3名(内1名はスペイン国籍)が大麻樹脂19.7kg、大麻250gを所持していた容疑で警察に逮捕された。その後、同市ラ・パイヤード地区にある食料品店で、経営者の男が大麻250gを所持していた容疑で逮捕され、現金1,230ユーロが押収された。9月上旬、警察は同店での薬物密売に関する情報を入手し内偵捜査を進めていた。

●14日(水)、トゥールーズ(オート=ガロンヌ県)ケプレ通り(ジョリモン地区)で、男(19歳)がコカイン2gを所持していたため警察に逮捕された。

●15日(木)深夜、トゥールーズ(オート=ガロンヌ県)コロンベット通りで、若者2名がコカインを吸引した容疑で警察官に逮捕された。警察は監視カメラ

により犯行を認知した。

●18日（日）午前零時50分頃、ラット（エロー県）で、男1名（22歳）が車両からガソリンを窃取した容疑で、通報を受けて駆けつけた警察官に逮捕された。犯人は大麻を所持していた。共犯者1名は逃走していたが、24日に逮捕された。

●18日（日）夜、男4名が車両2台でスペインからトゥールーズに向けて薬物を運搬していたところ、高速道路の料金所（パミエ（アリエージュ県）及びトゥールーズ）で警察に逮捕され、大麻63kg及び拳銃1丁が押収された。犯人の内2名（24歳）は、スペインとトゥールーズ間の運び屋として把握されていた。

●21日（水）、マルセイユ（BdR県）ムーラン＝ド＝メ（3区）にあるシテで、男（18歳）が自動式拳銃1丁、大麻樹脂1.7kg、コカイン35gを所持していたため逮捕された。

●21日（水）、マルセイユ（BdR県）ガリバルディ通り（1区）で、男（32歳）が車内に大麻樹脂200g、コカイン1g及び回転式ライフル1丁を所持していた容疑で逮捕された。レ・ゾリブ（13区）にある男の自宅を家宅捜索したところ、大麻樹脂9kg、コカイン350g、現金3万2千ユーロ、計量器、弾丸及び高級腕時計4個（内2個は県内で発生した強盗事件の被害品と特定）が押収された。

●23日（金）モンペリエ（エロー県）で、アルバニア国籍の男女（43歳と29歳）が車内に少量のコカインを所持していた容疑で逮捕された。同人宅及び別の車両の捜索の結果、コカイン5kg及び大麻4.4kgが押収された。同人らは、同市ガンベッタ地区で薬物密売を行っていた。

●25日（日）午前2時15分頃、クラレ（エロー県）で、男（31歳）が酒に酔って騒いでいて隣人に注意され、腹を立ててエアガンを取り出して隣人を脅し、憲兵隊に逮捕された。

●26日（月）午後11時30分頃、ヴィルヌーヴ・レ・マグローヌ（エロー県）で、男（24歳）が大麻樹脂30g及び大麻15gを所持していた容疑で憲兵隊に逮捕された。その後、憲兵隊が男の自宅を捜索したところ、大麻10gを押収した。

●27日（火）午後、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）イエール通り（ロズレ地区）で、男が大麻220g及び大麻樹脂38gを所持していたため警察に逮捕された。

●27日（火）午後9時頃、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）ボルドルージュ地区で、車両に乗った男3名（28歳、22歳及び21歳）が車内に大麻数g、MDMA52g及びコカイン数gを所持していたため警察に逮捕された。

### 3 交通事故等

●3日（土）午前9時45分頃、ニース（アルプ＝マリタイム県）ゲロー通り（高

速道路A8の高架橋下)で、スクーターを運転していた男性(38歳)が、対向してきたバスと衝突して死亡した。

●19日(月)午後3時30分頃、ニース(アルプ=マリタイム県)ガンベッタ通りで、自転車に乗っていた夫婦が車両に撥ねられ、2名とも頭部に重傷を負い病院に搬送された。車両は逃走した。

●27日(火)午後4時40分頃、トゥールーズ(オート=ガロンヌ県)付近の高速道路(A62)で、普通車と大型トラックの衝突事故があり、普通車に同乗していた女性(60歳)が死亡し、運転していた娘(27歳)は重体。

#### 4 その他の事件

●1日(木)午前5時頃、イエール(ヴァール県)で、男性警察官が自宅付近路上で、若者2名が駐車していた自分の車のドアをこじ開けようとしているのを発見したが、若者2名は逃走した。その少し後、覆面をした8名が車両2台で同所にやって来て催涙ガスと鉄の棒で警察官を襲って負傷させた。翌日、犯人の内2名(ともに17歳)が警察に逮捕された。

●3日(土)深夜、モンペリエ(エロー県)ラ・パイヤード地区で、男が交際相手の女性宅に赴き、殴る等の暴行を振るった上に女性の布団や衣類に尿をかけて汚し、警察に逮捕された。

●3日(土)深夜、モンペリエ(エロー県)リベルテ通りで、車両運転中の男1名が交通取り締まり中の警察官の停止命令に従わず、様々な交通違反を繰り返しながら逃走し、高速道路を利用してアルルまで逃走した後、配備していた警察官に逮捕された。

●5日(月)午前7時頃、モンペリエ(エロー県)バルセロナ通り(ラ・パイヤード地区)にある郵便局で、混合ガスをATMに注入して爆発させてATMを破壊し、現金を奪って逃走した。

●5日(月)、マルセイユ(BdR県)オーバーニュ通り(1区)の建物2棟が倒壊し、8名が死亡した。

●6日(火)朝、アヴィニオン(ヴォークリューズ県)で、覆面をした男1名が市役所建物に侵入し、パソコン、携帯電話及びタブレット等を窃取した。

●11日(日)朝、マルセイユ(BdR県)ミシェル=サルバルリ通り(2区)にある建物で、火災が発生し5名が軽傷を負った。出火原因は捜査中。

●11日(日)、マルティエグ(BdR県)ラ・ガシャレルの森で、男性の遺体が発見された。遺体は腐敗が進行しており、死因を特定するために解剖の予定。

●11日(日)午後2時頃、マルセイユ(BdR県)ロジエ(14区)のシテで、スクーターの部品が盗まれる事件が発生したため、警察官が現場に赴いたところ投石行為に遭った。

- 11日（日）夜、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）イザール地区で、車両1台が炎上した。現場付近で、ほとんど空のガソリン缶入りの鞆が発見された。顔と手を火傷した少年（15歳）が消防により病院に搬送された。
- 13日（火）深夜、ネビアン（エロー県）にある郵便局で、何者かがドアを破壊して侵入した。壁に埋め込まれた金庫は無事だった。
- 17日（土）午後6時30分頃、マルセイユ（BdR県）ブルタイユ通り（1区）にあるバーで、精神障害のある女（40代）が店にいた客に塩酸をかけ、6名が病院に搬送され、他の客4名が現場で救急措置を受けた。女は逮捕された。
- 18日（日）午前5時頃、モンペリエ（エロー県）パラヴァ通りにあるディスコ前で、酒に酔った男が警備員に刃物を見せて脅したため逮捕された。
- 18日（日）夜、モンペリエ（エロー県）ゲルハールト通りにあるアパートで、火災が発生したが負傷者は出なかった。出火原因は調理中のフライパン。
- 22日（木）、憲兵隊は、2018年1月からラ・コール＝スール＝ルー（アルプ＝マリタイム県）で発生した空き巣被害は23件だったと発表した。
- 27日（火）午後2時頃、サン＝テチエンヌ＝ド＝グルガ（エロー県）の民家で火災が発生したが、家人1名は外に避難することが出来、人的被害はなかった。出火原因はろうソクの火と見られている。
- 27日（火）、ニームの裁判所で、アヴィニオン（ヴォークリューズ県）にあるファーストフード店の元経営者が過失致死罪で、執行猶予付きの禁固2年の判決を受けた。2011年1月、同ファーストフード店で食事をした少年（14歳）が帰宅した後、吐き気と頭痛を訴え死亡した。解剖の結果、死因はブドウ球菌による食中毒と判明した。
- 28日（水）ヴァール県で、憲兵隊による売春組織に対する一斉摘発が行われ、ルーマニア国籍の男女7名が逮捕された。
- 29日（木）午後2時頃、マルセイユ（BdR県）ジョリエット（2区）で、男子中学生（12歳）が少年（13歳）に太腿を刃物で刺されて負傷した。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報をもとにまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。